

◎令和6年度冬号

◎発行日
令和6年12月20日(金)

学校通信

ふれあい

◎発行

青森県立田名部高等学校
全日制的課程
TEL (0175) 22-1184
FAX (0175) 23-7233
E-mail: tanabu-h@asn.ed.jp「ふれあい」に
込めた想い

校長 千葉 栄美

この学校通信のタイトル「ふれあい」は今年度編集を担当している教務部の大坂先生が考えたものです。すごくシンプルで優しい響きがあり、今まで沢山語られてきたけれども、今の世の中で忘れられようとしている大事な言葉だと思いました。お店で店員さんと雑談をすること、近所の人にお醤油を借りに行ったり、作りすぎたおかずをお裾分けしに行くこともすっかりなくなりました。私たちは今、限られた人間関係の中で、最小限の会話を生かしています。SNS上でのつながりは沢山あるかもしれませんが「ふれあい」ではありません。相手の息づかいや温かさが感じられる距離で、ぶつかりたり、許し合ったり、わかり合ったり、時にはわかり合えないと諦めたりすることなどは、どんな時代においても大切なことなのだと思います。実際に「体験」してみなければわからないことがこの世の中には沢山あります。

実社会で少しずつなくなる「ふれあい」を学校では大切にしていきます。気のあう仲間とだけ話をするのではなく、様々な行事や挑戦を通して、そして何より、学校で学ぶことを通して「実感」「体験」として「人とふれあい」、自分自身を成長させられる教育活動をしていきたいと思っています。生徒だけではなく、我々教員もまた、そうでありたいと願っています。

学校内外で、沢山の失敗と成功体験を重ねながら田名部高校の生徒達は必死に歩んでいます。そんな姿をこの通信で御覧ください。例年になく長い年末年始休暇です。どうかご家庭での「ふれあい」も大切にしてください。卒業し、家を出るまでの束の間の、今日の前にある時間をどうか大事にしてください。よい年末年始をお過ごしください。

思い出の荒写真館

美術部 申賀 穂香

私がこの絵を描こうと思ったきっかけは、学校から見えるむつ市の古い町なみを描きたいと思ったからです。しかし、イメージに合う風景が少なく、古い建物が残っている本町通りを探しました。そこで、小さな頃からお世話になっている荒写真館が目にとまり描くことにしました。レトロな雰囲気表現するため、すみずみまで細く描くことを頑張りました。入賞を聞いた時、とても驚きました。表彰式では様々な作品に触れ、講評をいただき、勉強になりました。次回は、大きなサイズの絵にも挑戦してみたいです。



第45回青森県高等学校総合文化祭(東青・下北大会)

【美術部門】

優良賞

「思い出の荒写真館」

【青少年赤十字部門】(JRC部)

壁新聞コンテストの部 優良賞

体験発表の部 優良賞

「人の心を考える」

【写真部門】

「快晴下の茶トラ」

「朝の光」

「躍動の時」

「停泊中の船」

「夕焼け」

「真夏の壮行式」

「清流」

「紅葉の中のシンボル」

「チューリップ畑」

「桜咲く校庭」

「遠くに見える町」

「我が子」

【放送部門・朗読】

太宰治「女生徒」

太宰治「駆込み訴え」

太宰治「待つ」

太宰治「畜犬談」

太宰治「津軽」

【放送部門・アナウンス】

「貝焼き味噌の店、むつ市小川町『なか川』の紹介」

「むつ市のローイング大会『まさかりレガッタ』の紹介」

「田名部神社の主神、味相高彦根命の紹介」

阿部 莉果

五十洲ひなた

松下 綾花

【放送部門・映像(ドラマ)】

「あかるいソラ」

【吹奏楽部門】

「陽はまた昇る」「シングシングシング」

大湊高・大間高との合同チーム

【国際理解部門】(プロジェクトチーム)

「震災から学び考える」

國府方由唯、大見かのん、千葉真衣、杉本宇海、成田羽輝、田中心奏

高校生海外フィールド
ワークチャレンジ新田 楓夏 八戸 花
山本 凜花 吉田 翔音
賀佐 愛菜 白濱 琉華

私達は青森県海外フィールドワークチャレンジという県の事業に参加していて、十二月中旬からイギリスへの渡航を予定しています。テーマは「短命県返上のための減塩」です。パンに着目して減塩を進めることができないかという発想から、イギリスでのパンの減塩を学びに行こうと考えています。現在は渡航に向けて、現地の訪問先での英語でのプレゼンや、質問内容、青森県をどのように紹介するかなどの準備を進めています。渡航後には、現地での調査を活かしたパンの減塩を青森県に広められるよう活動していきたいと思っています。



[打ち合わせの様子]



[企画競技会参加]

総合的な探究の時間 ～探究理解～

図書探究部主任 馬場 桃子

総合的な探究の時間(総探)では、生徒自身が課題を見つけ「自分から何ができるか」という視点で探究活動を行っています。一年次は探究スキル(情報収集する・分析する等)をグループワークで身につける、むつ市の地域課題等身の回りのことについて考えます。二年次はグループ毎に探究テーマを設定し、アンケート調査や実験をしたり、校外へインタビューに行ったりすることもあります。テーマはバラエティに富み、どれも興味深いものです。三年次は探究の成果を校内で発表し、まとめをします。ここで習得したスキルや仲間と協力し課題解決に向かうという経験が教科学習、進路、実社会において生かされることを願い、学校全体で取り組んでいます。学校ホームページにも活動の様子を掲載していますのでぜひご覧ください。



ジオパーク全国大会



発表の様子



校内インタビュー②



校外インタビュー①



学校ホームページに活動の内容を掲載しています。ご覧になってください!



むつ市役所出前講座



グループ活動の様子②



グループ活動の様子①



ムカサ競走



海老川障害物競走



90m走



90m走



開会式

体育祭

10月11日実施

★優勝★

緑チームリーダー 宮川 光輝

私は体育祭直前までリーダーにポジティブな感情を抱けませんでした。しかし、フリーザで全員の前に出たときの悲鳴交じりの歓声が羞恥心はなくなり、選手宣誓はともにも楽しめ感じました。全員リレーも総合一位をとれた今回の体育祭は、得るものが圧倒的に多く、最後の体育祭として最高のものでした。

体育祭リーダーになった時正直な感想はとても面倒くさいというのが第一にあった。リーダーになったら準備もしなきゃいけないし、選手宣誓をしないといけないからだ。当日は選手宣誓もある程度ウケは取れているような気もしましたが、紫組は準優勝を勝ち取ることもできた達成感を感じた。苦労して大変な思いもしたけどやってよかったと思う。

私は、最後の体育祭が楽しかったです。私は、悟空のコスプレをしました。なかなかオレンジ色のズボンと服を見つけたことができなかったで、白いズボンと服を買ってオレンジ色の絵の具で染めて楽しかったんです。練習が少なかつたけど上手にできてうれしかったです。100m走に出たりムカサリレーに出たりして楽しかったです。

私が体育祭を振り返って思い浮かべるのは選手宣誓以外の何ものでもありません。実を言うと、選手宣誓の台本は当日の一時に出来上がりました。男五人が計画的に行動できる訳でも無く、前日に焦り始めて二組の宮川くんとうなつたらウケるかをずっと考えた楽しかったのを鮮明に覚えています。それでもなんだかんだ楽しかった思い出です。最後に一組の小山内くんは何も手伝わないで寝ていたのだけを伝えておきます。許しません。

最初の選手宣誓でコスプレをして登場して笑ってもらえる心配だったけど思っていたより反応がよくすごく嬉しかったです。全体を通してみんな楽しんでいて精一杯応援していたし他の組が勝つてもいいし網引き系がみんな他の学年と力を合わせて頑張っているのを見ていていただけで面白かったです。初めての全員リレーは一位ではなかったけどみんな楽しめていたので良かったです。



3年リレー1位



3年全員リレー



2年選抜リレー



綱引き



借り物競走

ケビン先生 紹介

Hello! My name is Kevin Yuan and I am the new ALT at Tanabu High School. I am 26 years old and come from Texas in America. Before coming to Japan, I worked as a banker for 4 years. While the job was interesting, it did not always feel fulfilling. That is why I decided to quit my job and come to Japan to become an ALT. I have really enjoyed my new life in Mutsu so far, and look forward to working more with your kids! Outside of school, I like to run, play tennis, and hike. I like most sports, and I really look forward to skiing in the winter. I also love music, both playing music and listening to music. Lastly, travelling and experiencing new cultures is one of my passions in life, which is one of the reasons why I decided to move to Japan! My Japanese is still not very good, but if you see me around town, please come say hi! I will work hard to become the best teacher I can be. Nice to meet you!

こんにちは! 私は田名部高校で新しくALTになったケビン・ユアンです。アメリカのテキサス州出身の26歳です。日本に来る前は銀行員として4年間働いていました。仕事は面白かったのですが、いつも充実していたわけではありませんでした。だから仕事を辞めて、ALTになるために日本に来ることにしました。むつでの新しい生活をとても楽しんでいますし、生徒の皆さんともしっかりと活動することを楽しみにしています! 学校以外では、ランニング、テニス、ハイキングが好きです。ほとんどのスポーツが好きで、冬はスキーをするのが本当に楽しみです。また、音楽を演奏するのも聴くのも大好きです。最後に、旅行や新しい文化を体験することは私の情熱を注ぐことの一つであり、日本へ来ることを決めた理由の一つでもあります! 日本語はまだあまり上手ではありませんが、街で見かけたらぜひ声をかけてください! 精一杯よい教師になれるように頑張ります。よろしくお願ひします!



ドラムセット 寄贈

先日、本校に勤務されていたことのある肥田様が亡くなられ、ご遺族の方より、YAMAHAのステージカスタムドラムセットを寄贈いただきました。学校の吹奏楽委員会と軽音楽サークルにて利用させていただきます。今後ともコンクールや田高祭での発表等、大切に使用させていただきます。肥田様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、お礼のご挨拶とさせていただきます。

